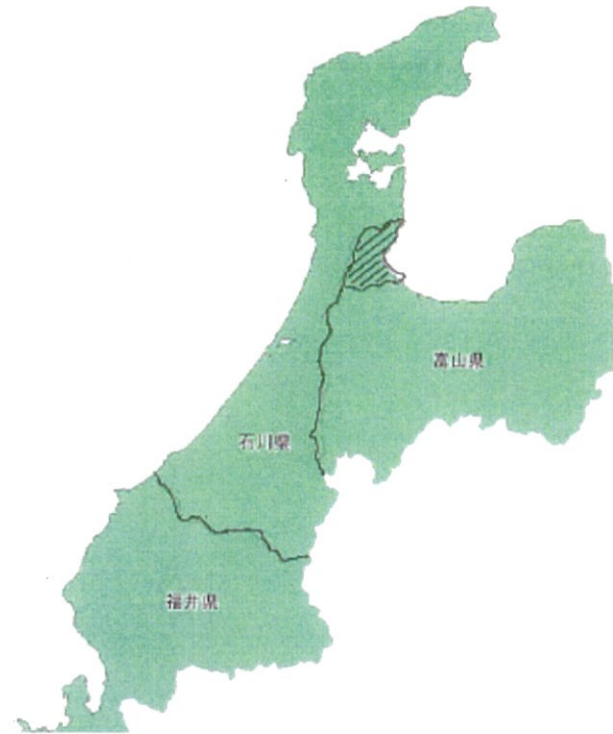


プロジェクト名

氷見市北大町市有地  
利活用事業

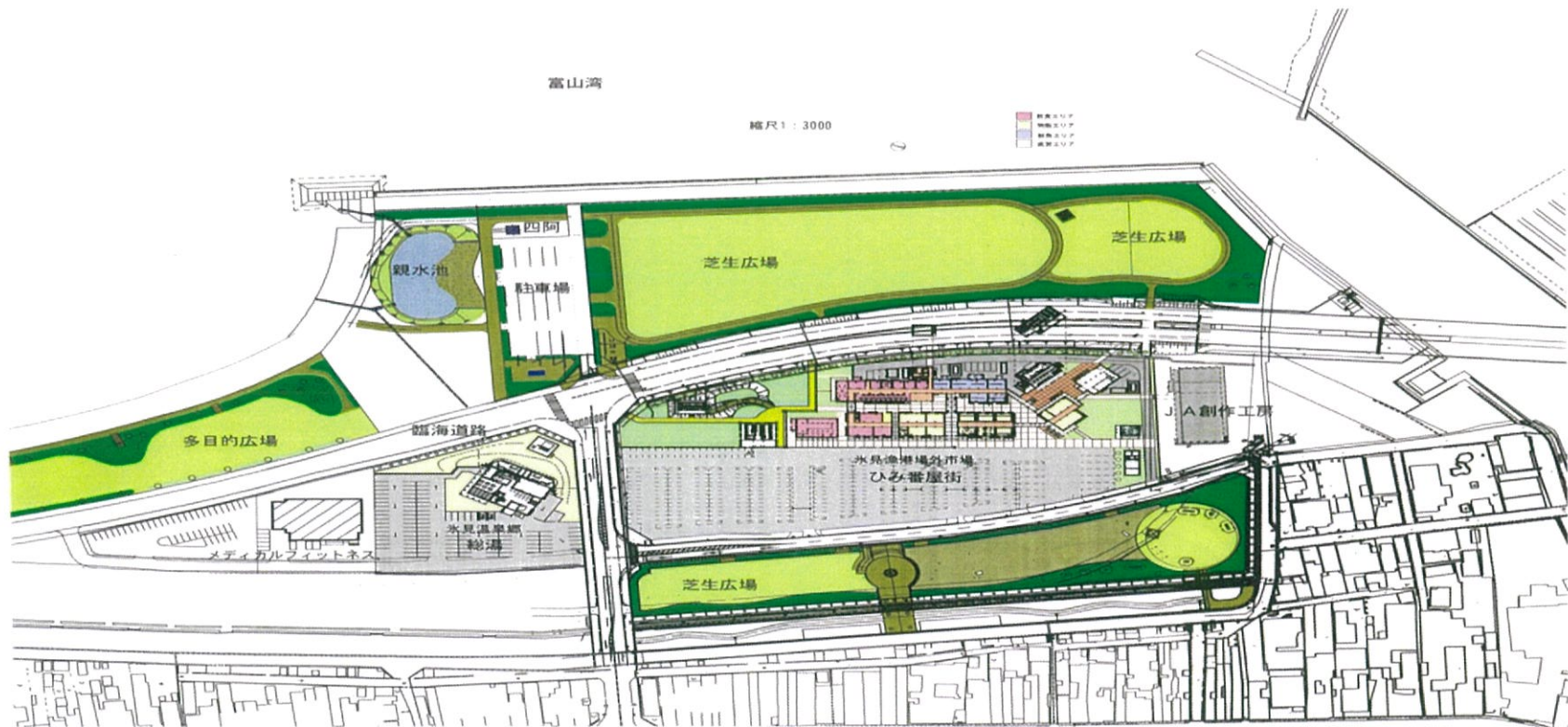
# 富山県氷見市の位置図



# ○利活用土地の状況(周辺の航空写真)



# ○ 利活用土地見取図



## ○ 利活用土地の誕生まで

- ・平成4年 氷見漁港一帯が水産庁の「マリノベーション拠点地区」に認定  
(漁港施設大改修、臨港道路、斜張橋、緑地公園等)
- ・平成7年 氷見市が公有水面の埋め立て免許を取得し埋め立て開始
- ・平成8年～
  - ・一部完成 市民によるひまわり畑
  - ・完成後の活用について市民の声を聴く(まちづくり推進本部)
- ・平成18年 埋め立て完成(新たな土地として約6ヘクタールが市有地となる)

# プロジェクト推進の背景

- 第7次氷見市総合計画に掲げる200万人交流達成の拠点施設
- 北陸新幹線(東京～金沢)の開業が迫る
- 高速道路(能越自動車道)の七尾市までの開通が迫る
  - ※人・モノの交流が激変し、地域間競争が始まる。

# プロジェクトの提案～運営会社創立

- 平成22年 市長が北大町市有地利活用の有識者会議を設置し活用方法について諮問
  - 平成23年 有識者会議より答申
  - 同年 氷見市議会の承認
  - 同年 氷見市と(合)まちづくり氷見が発起人となり運営会社を創立
- ※ 大手開発業者に丸投げしない方針

# 運営会社（氷見まちづくり株式会社）

## ○役員体制について（オール氷見の組織体制）

氷見市・氷見商工会議所・氷見漁業協同組合・氷見市農業協同組合・氷見市観光協会  
・民間より取締役を選出。代表には民間企業の若手社長を起用

## ○ 資本金の調達について

出資条件を1株5万円、20株以上とし、上記団体、市内金融機関、民都、市内外の個人・企業約60名の株主に依頼。6, 5億円調達



# 施設建設の概要

- 施設の設計
  - ・富山県内の大手設計会社5社によるプロポーザル(魚の街をイメージできること等)
- 建設費用概算 約10億円
  - ・ひみ番屋街5億円、総湯3億円
  - ・設計料3, 5千万、温泉掘削費5千万

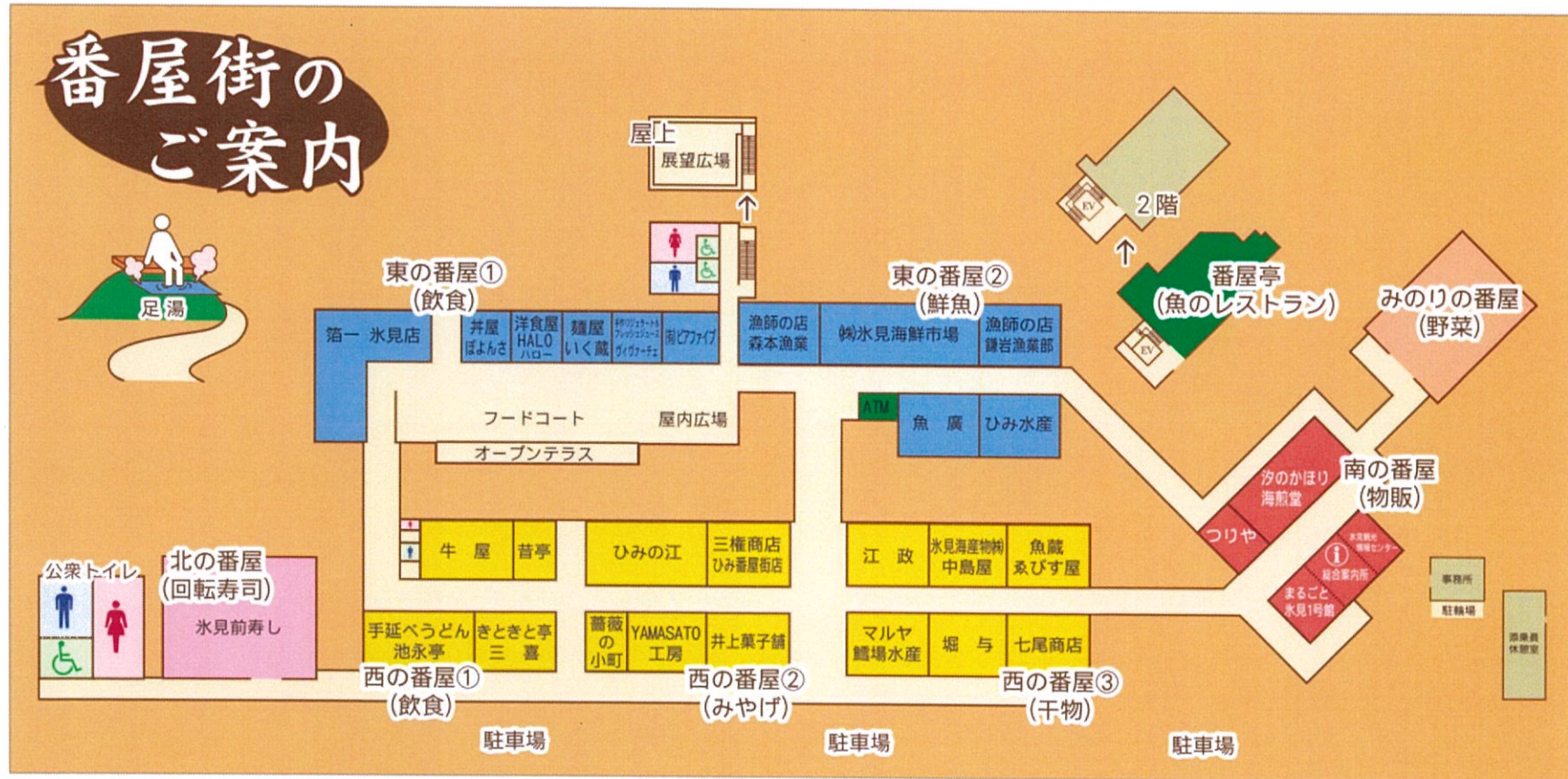
# 氷見漁港場外市場「ひみ番屋街」について



# 海越しの立山連峰



# ひみ番屋街配置図









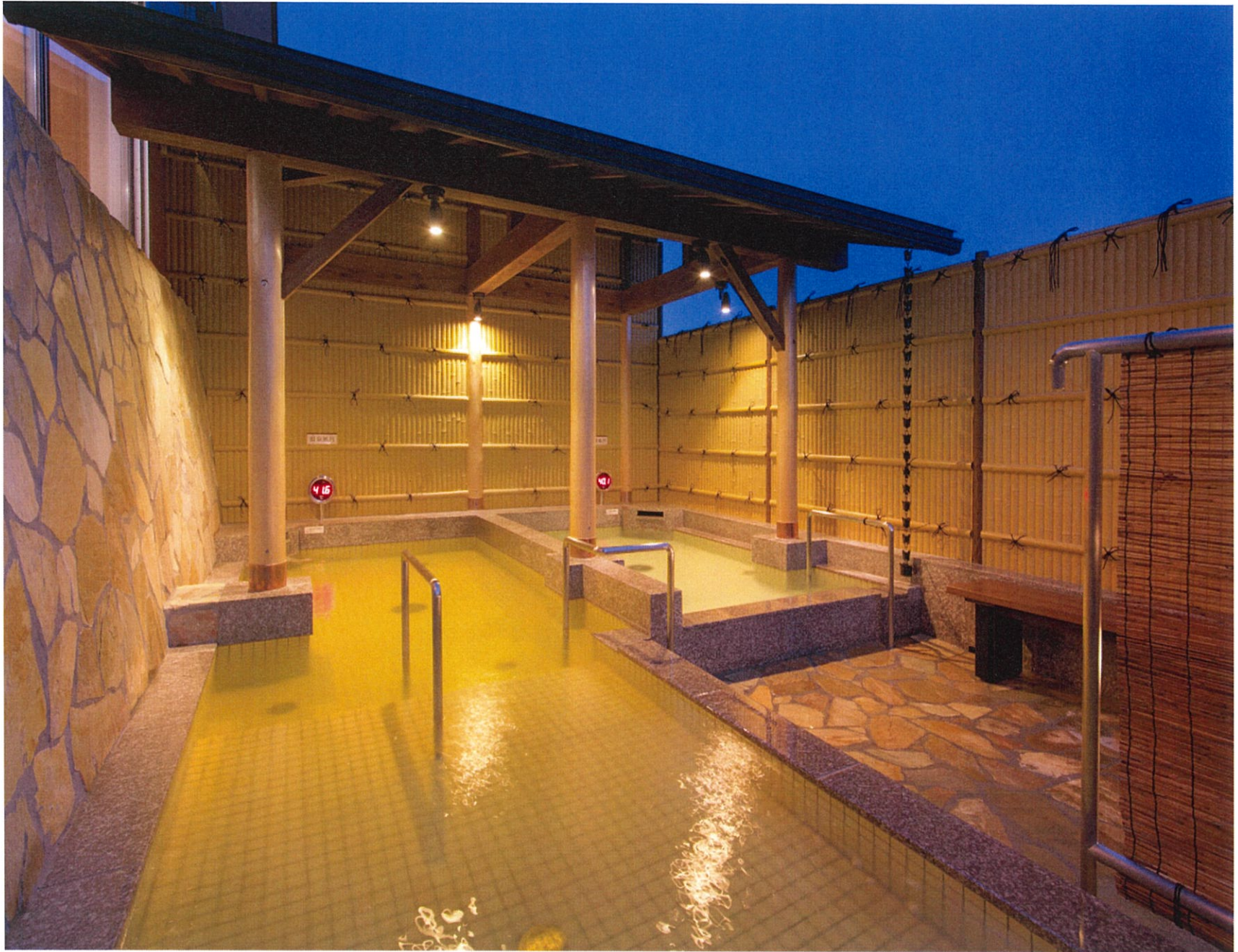
# 氷見温泉郷「総湯」について













# 施設の運営、継続に向けて

## ○運営状況

- ・施設全体雇用人数 約200人
- ・年間来場者数 約120万人(総湯約15万人)
- ・年間バス入込数 約7,000台
- ・施設全体売上高 年間約20億円  
(テナント29店舗・直営6店舗)

## ○今後の課題

- ・各種イベントの開催
- ・エージェントへの営業強化
- ・SNSでの情報発信や施設の魅力アップ
- ・まちづくり会社(運営会社)の体力強化